

info-pack

株主の皆さまへ

第61期事業報告書
(2021年4月1日～2022年3月31日)



夢を包み、心をつなぐ。
シモジマ

株主の皆さまへ

President's Message



代表取締役社長

芝井 義彦

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第61期事業報告書（2021年4月1日から2022年3月30日まで）をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

第61期の連結業績としましては、連結売上高480億63百万円（前期比2.0%増）、連結営業利益44百万円（前期比83.9%減）、連結経常利益3億80百万円（前期比31.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益86百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失3億31百万円）となりました。

当期におきましては、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出と解除により、経済活動も停滞と回復が繰り返し起こりました。緊急事態宣言解除後の10月以降に一時は持ち直しの兆しを見せましたが、1月後半にはオミクロン株感染者の急速な増加によって、再度まん延防止等重点措置が発出され、回復にブレーキがかかりました。当社グループが属する業界においては、世界的な環境問題への意識高揚による脱プラスチック化など事業環境の変化に加え、インターネット通販市場やテイクアウト・フードデリバリー需要の拡大といった消費行動も引き続き大きく変化しています。

このような状況のもとで、当社グループは、2026年3月期までの5年間を対象とした中期経営計画を2021年11月に開示しております（https://www.shimozima.co.jp/ir/medium_long.html）。その中で、シモジマグループの長期ビジョンを「“パッケージ×サービス”でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指す」と定め、1. 事業の拡大、2. 経営基盤の強化、3. 経営体制の強化を長期方針とし、計画に則った活動を開始いたしました。

新型コロナウイルスの脅威は、いまだに日本経済に影を落としておりますが、その影響は最悪の状況は脱し、過去2年よりは幾分軽減されていくと想定されます。制限はあるものの各種イベントが開催されるなど、ウィズコロナ社会が定着していくものと思われれます。イベントが開催されることは、制限が付いているにしても当社にとって明るい材料と捉えることができます。当社は引き続き中期経営計画を実行し、事業の拡大、経営基盤の強化及び経営体制の強化を図り、業績の拡大と共に、コーポレートガバナンスに則った経営をさらに促進してまいります。

今後も当社の活動へのご理解とご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

社是

・誠意・熱意・創意

経営理念

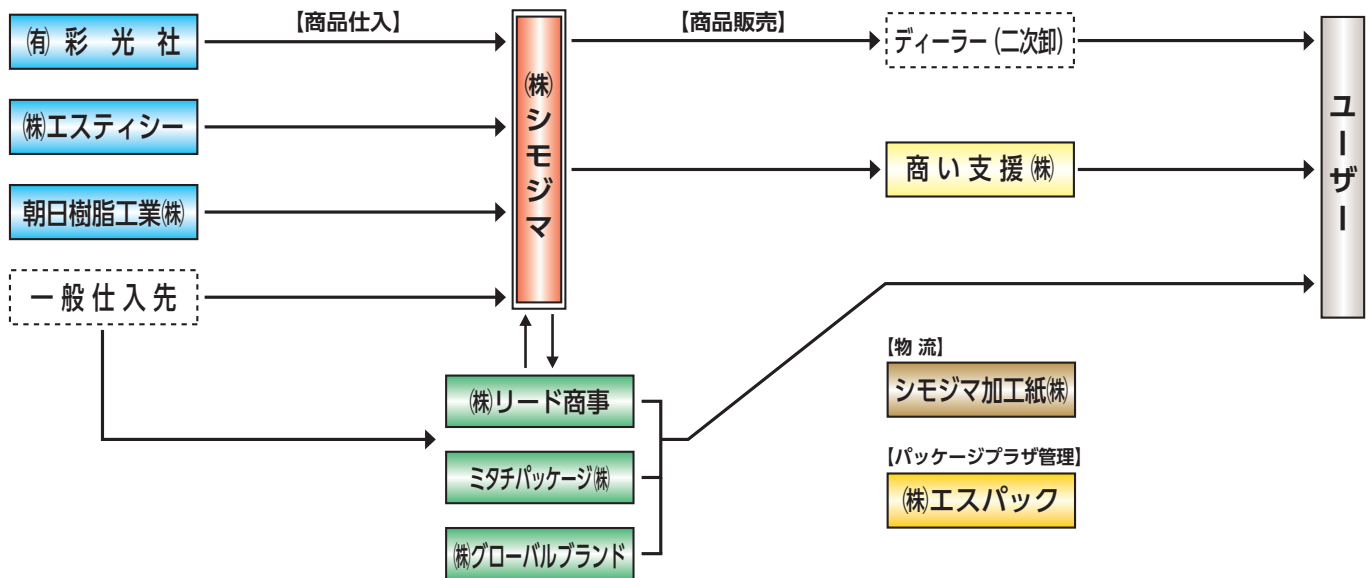
- 一、包装用品とこれに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する
- 一、常に顧客のニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める
- 一、たえず経営の合理化と積極販売に努力し企業の発展を図る
- 一、社員の楽しく健康的な生活を確保する

長期ビジョン

「“パッケージ×サービス”でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指す」

長期方針

1. 事業の拡大
2. 経営基盤の強化
3. 経営体制の強化

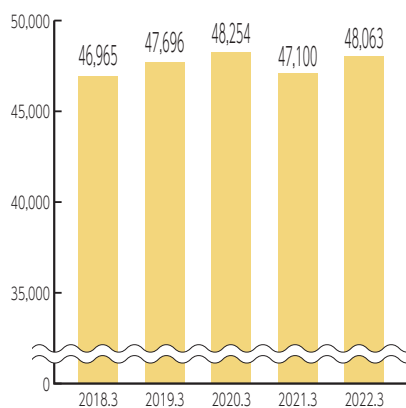


損益の状況

Profit and Loss Situation

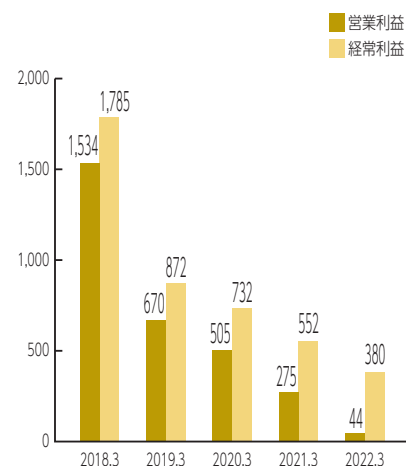
●連結売上高

(単位：百万円)

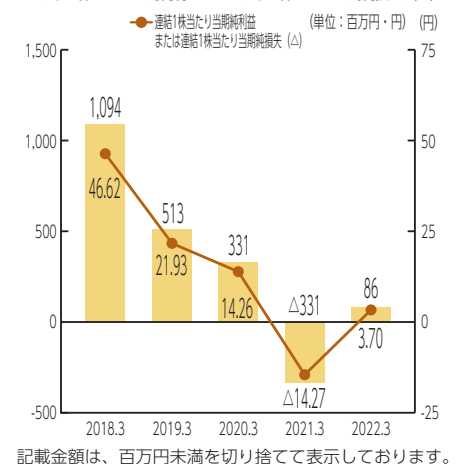


●連結営業利益・連結経常利益

(単位：百万円)



●親会社株主に帰属する当期純利益または親会社株主に帰属する当期純損失 (△)・連結1株当たり当期純利益または連結1株当たり当期純損失 (△)



記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業セグメントの概況

General Condition of Business Segments

■〔紙製品事業〕

連結売上高 90億30百万円 (前期比8.7%増)

<主要な商品>
紙袋、包装紙、紙器



■〔化成品・包装資材事業〕

連結売上高 269億48百万円 (前期比5.5%増)

<主要な商品>
ポリ袋、食品包材、その他包装資材等



■〔店舗用品事業〕

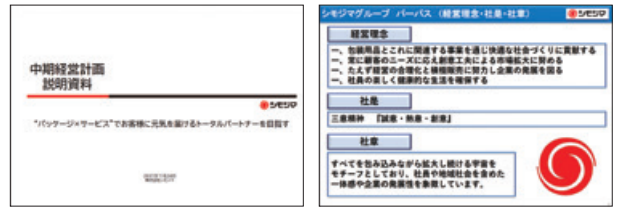
連結売上高 120億84百万円 (前期比8.8%減)

<主要な商品>
文具事務用品、POP用品、店飾雑貨等



1. 中期経営計画の策定

当社グループは2026年3月期までの5年間を対象とした中期経営計画を策定、2021年11月に開示し、計画に則った活動を開始いたしました。中期経営計画の中で、「パッケージ×サービス」でお客様に元気を届けるトータルパートナーを目指す」とした長期ビジョン、「【1】事業の拡大」「【2】経営基盤の強化」「【3】経営体制の強化」の3つの長期方針、そしてこれらに基づいた販売戦略、DX戦略、投資計画、ESGへの取り組みなど、当社グループの経営戦略とその目標を紹介しております。



▲中期経営計画

当計画書は当社HPにて公開しております(https://www.shimojima.co.jp/ir/medium_long.html)。

2. 子会社(株)グローバルブランドのご紹介

当社は2021年11月に(株)グローバルブランドの株式を取得し、子会社化いたしました。

同社は主に海外物流事業及び越境EC事業を手掛け、ECを通じた海外への販路拡大を目指す顧客をサポートする技術やノウハウに強みを持つ企業です。独自に開発し、提供している海外発送システム「Shipper Maker」は米Amazonやクーリエ（運送会社）とのシステム連携により配送状況が即時反映されるほか、必要な通関書類が簡単に出力可能であるなど使い勝手に優れ、高く評価されています。



▲(株)グローバルブランドHPより

EC事業に力を入れさらなる成長を狙う当社としましては、同社とタッグを組むことでより大きな付加価値を創り出せるものと考えております。

3. 消費電力量に関する状況

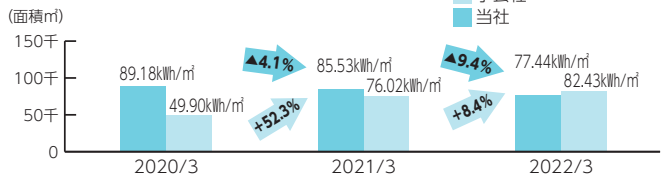
当社では、電力消費抑制をCSRの重要課題として取り組みを続けております。

従業員による節電活動を行うことの他に当下期におきましては、心斎橋店全館の照明LED化・岐阜店の照明LED化を実施いたしました。

今期におきましては、グループの消費電力量は970万kWhとなり、前年同期比9.1%の減少となりました。

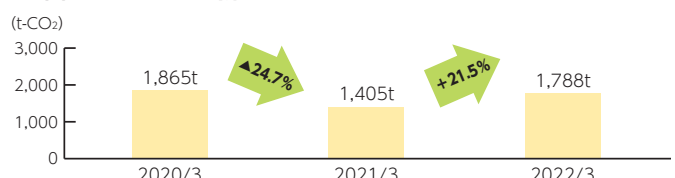
また、原単位として、当社は設備面積当たりの電力消費量を指標としております。同指標の推移といたしましては、当社全体では77.44kWh/m²となり前期比で9.4%の減少。子会社では、82.43kWh/m²となり前期比で8.4%の増加となりました。子会社における増加は当社子会社の増加によるものであります。

●グループでの電力消費原単位



*小数点第2位以下を切り捨てております。

●本社のみでのCO₂排出量



*調整後排出係数換算：環境省・経済産業省の省令に基づき算出された係数で換算しています。
*小数点2位以下を切り捨てております。

4. 容器包装リサイクル法への対応

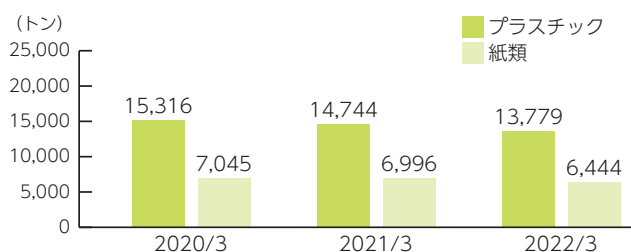
当社は、従前より、包装の利用による環境の負荷について認識しており、その対応の一環として、容器包装リサイクル法への対応に取り組んでいます。具体的には、特定事業者として再商品化委託料を公益財団法人日本容器包装リサイクル協会にお支払しているほか、容器包装抑制に関する報告書を関東経済産業局に提出しています。

排出抑制に関して、プラスチック製買物袋有料化制度への対応のほか、声掛け、お客様向けのポリ袋の薄肉化や紙袋のサイズの適正化等の努力を継続している等、今期も各種環境対応型商品の開発に取り組んでおります。



▲バイオマスを活用した「バイオクリスタルBOX」

容器包装リサイクル法対応による取り扱い容器包装資材の量の推移



5. 阪神甲子園球場における循環型リサイクルの取り組み

阪神甲子園球場オフィシャルエコパートナーである当社は、阪神甲子園球場とともに、同球場で回収したプラスチックカップの再生原料を一部使用した「リサイクルごみ袋」を開発しました。この「リサイクルごみ袋」は、同球場で回収されたプラスチックカップ10%のほか、ペットボトルを20%、ポリエチレンの再生原料を35%配合しており、再生原料65%とリサイクル率が高く、通常のポリ袋に比べCO₂排出量を約15%削減できる製品です。

この「リサイクルごみ袋」は、2022年のシーズンから循環型リサイクルの取り組みとして同球場で使用されるほか、球場が所在する兵庫県西宮市の指定ごみ袋制度の承認品（西宮市指定事業系ごみ袋）となりました。

今後も環境に配慮した素材の商品の開発や販売拡大に努めてまいります。



■ 新商品のご紹介

New Products

1. 木製カトラリー

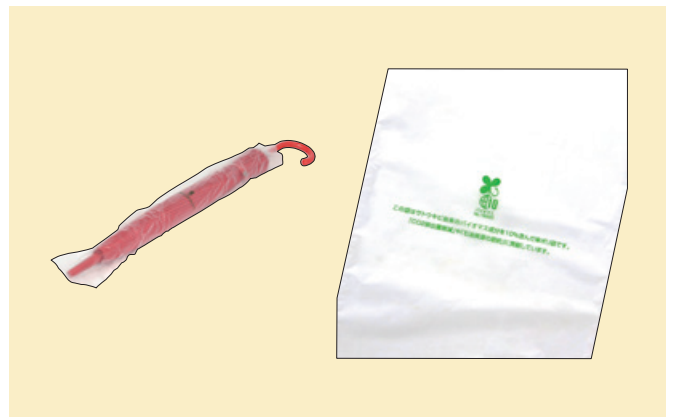
天然の木材を使用しており、燃えるゴミとして廃棄できます。脱プラ対策にご利用頂けます。



▲木製カトラリー

2. バイオマス傘ポリ

環境への負荷を軽減するバイオマス素材の傘用ポリ袋です。



▲バイオマス傘ポリ

3. ポートチャームバッグ

フォルムが新しい舟底タイプの紙袋です。



▲ポートチャームバッグ

4. 新エチケットグッズ



▲新エチケットグッズ

立体マスクと買物袋（バイオハンドハイパーLL）がセットになったグッズ。新生活様式に対応。バッグに入れておくと便利です。



◆連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	前期 (2021年 3月31日現在)	当期 (2022年 3月31日現在)	科目	期別	前期 (2021年 3月31日現在)	当期 (2022年 3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		20,105	19,154	流動負債		4,795	4,876
現金及び預金		7,629	6,035	支払手形及び買掛金		2,699	2,915
受取手形及び売掛金		5,872	6,293	1年内返済予定の長期借入金		2	6
電子記録債権		757	807	リース債務		129	126
商品及び製品		4,908	5,019	未払法人税等		78	141
原材料及び貯蔵品		489	494	契約負債		-	46
その他		460	516	賞与引当金		336	333
貸倒引当金		△14	△12	役員賞与引当金		21	23
固定資産		18,188	18,601	その他		1,527	1,283
有形固定資産		12,603	12,578	固定負債		1,272	1,257
建物及び構築物		3,956	3,866	長期借入金		77	122
機械装置・運搬具		402	424	リース債務		406	345
土地		7,762	7,762	再評価に係る繰延税金負債		277	277
リース資産		369	332	退職給付に係る負債		232	315
その他		113	192	資産除去債務		39	38
無形固定資産		1,370	1,831	その他		239	158
のれん		254	653	負債の部合計		6,067	6,134
リース資産		38	31	(純資産の部)			
その他		1,077	1,147	株主資本		37,850	37,413
投資その他の資産		4,214	4,191	資本金		1,405	1,405
投資有価証券		741	558	資本剰余金		1,304	1,304
長期貸付金		344	337	利益剰余金		36,255	35,802
繰延税金資産		657	730	自己株式		△1,114	△1,098
保険積立金		2,131	2,251	その他の包括利益累計額		△5,677	△5,847
その他		434	401	その他有価証券評価差額金		437	310
貸倒引当金		△95	△87	繰延ヘッジ損益		55	35
資産の部合計		38,293	37,756	土地再評価差額金		△6,195	△6,195
				退職給付に係る調整累計額		25	1
				非支配株主持分		52	57
				純資産の部合計		32,225	31,622
				負債及び純資産の部合計		38,293	37,756

◆連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	前期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高		47,100	48,063
売上原価		32,038	33,091
売上総利益		15,061	14,971
販売費及び一般管理費		14,786	14,927
営業利益		275	44
営業外収益		343	415
営業外費用		66	79
経常利益		552	380
特別利益		193	7
特別損失		1,114	128
税金等調整前当期純利益または 税金等調整前当期純損失 (△)		△369	259
法人税、住民税及び事業税		255	153
法人税等調整額		△229	14
当期純利益または当期純損失 (△)		△395	91
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失 (△)		△64	5
親会社株主に帰属する当期純利益または 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)		△331	86

◆連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	前期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー		1,103	430
投資活動による キャッシュ・フロー		△407	△1,376
財務活動による キャッシュ・フロー		△404	△647
現金及び現金同等物に係る 換算差額		0	0
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)		291	△1,593
現金及び現金同等物の 期首残高		7,150	7,441
現金及び現金同等物の 期末残高		7,441	5,848

2023年3月期業績予想

Business Forecasts

(単位：百万円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
50,700	360	670	400

会社の概要 (2022年3月31日現在)

会社名 株式会社シモジマ
英訳名 SHIMOJIMA Co.,Ltd.
創業 1920年
設立 1962年4月26日
資本金 1,405百万円
本社 東京都台東区浅草橋五丁目29番8号
TEL 03-3864-0061 (代表)

従業員数 (連結) 809名
(単独) 627名
*従業員数は就業員数であり、臨時雇用者は含んでおりません。

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行済株式総数 24,257千株
発行可能株式総数 67,000千株
株主数 13,726名

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 (連絡先)
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所 (プライム)
単元株式数 100株
公告の方法 電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告の掲載URL <https://www.shimojima.co.jp>

役員一覧 (2022年6月23日現在)

代表取締役社長 笠井 義彦
代表取締役専務 下島 雅幸 (上席執行役員管理本部長兼人事部長)
常務取締役 小野寺 仁 (上席執行役員経営企画本部長兼SCM部長)
常務取締役 川原 利治 (上席執行役員営業統括本部長)
取締役 服部 進吉 (上席執行役員営業統括本部副本部長)
取締役 大貫 学 (上席執行役員商品本部長兼品質管理部長)
社外取締役 梅野 勉 (独立役員)
社外取締役 岩崎 剛幸 (独立役員)
社外取締役 金井 千尋 (独立役員)
常勤監査役 古橋 孝夫
常勤監査役 工藤 弘行
社外監査役 佐藤 裕一 (独立役員)
社外監査役 榎本 峰夫 (独立役員)
上席執行役員 下島 謙司 (グループ管理室長)
上席執行役員 島田 浩一 (営業統括本部副本部長)
執行役員 渡辺 昭一 (営業統括本部副本部長)
執行役員 肥田 耕一 (商品本部副本部長兼第二商品部長)
執行役員 池田 裕子 (管理本部副本部長兼経理部長)
執行役員 尾尻 新吾 (営業統括本部副本部長)
執行役員 高野 雅司 (経営企画部長兼広報室長)

当社は、2014年6月24日より執行役員制度を導入しています。

株主優待制度のご案内

当社では、株主様への感謝のしるしとして、下記のとおりで株主優待制度を設けております。当社グループの取り扱い商品 (家庭で使用される雑貨) を贈呈いたしております。株主の皆さまにおかれましては、当商品をご愛用いただき当社グループの事業に対するご理解を深めていただければ幸甚に存じます。

- 対象
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された、当社株式を100株以上ご所有の株主様
- 優待内容
1,000株以上ご所有の株主様に対して、一律に希望小売価格5,000円相当の当社取り扱い商品で家庭で使用される雑貨類詰め合わせを1セット贈呈。
100株以上1,000株未満ご所有の株主様に対して、一律に1,000円のクオカードを1枚贈呈。
- 発送時期
毎年6月中旬より順次発送

以上



(写真は2022年度の株主優待品です。内容は変更することがございます。)

株式会社 シモジマ

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-29-8
TEL.03 (3864) 0061 (代表) FAX.03 (3865) 4470
URL <https://www.shimojima.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



本報告書は以下のような環境配慮をして印刷・製本しています。
製版工程では、使用後に廃材となるフィルムを使用しない、ダイレクト製版 [CTP (Computer to Plate)] を用いています。
印刷工程では、VOC (揮発性有機化合物) の発生が少なく生分解性や脱墨性に優れた植物油インキを使用しています。